

環境学習コーディネーター事業を活用した連携・協働取組の事例

(1) 豊田市立東広瀬小学校(4年生)の例 ～身近な川とわたしたちの暮らし～

<コーディネーターへの相談内容>

○依頼者(先生)のご要望

学区の川を利用して環境学習を実施したいが、水生生物や水質調査に関する専門知識がないので、専門家からアドバイスを得たい。

<コーディネーターの対応>

○外部講師の紹介

川の調査・研究機関である矢作川研究所を紹介した。

○授業内容の提案

児童が、川に入り親しむだけでなく、CODのパックテストや指標生物調査を行い川の水質の状況を把握する。その後、生活排水に関する話をし、自分たちの暮らしが身近な川や川の水が注ぎこむ海と関わりがあることに気づく授業を提案した。



<コーディネーターに対する感想>

○学校の先生

授業内容を相談しながら組立てることができた。また、振り返りの時間を設けたことで、子どもたちが自分たちの生活と川の水、生き物を結び付けて考えることができ、学習内容への理解が深まった。

適切な講師や準備物、段取り等を担っていただき、スムーズに授業を実施することができた。

○外部講師

コーディネーターが先生との調整を図ることにより講師の役割に専念することができた。

今後、生活排水やゴルフ場排水などの地域の土地利用との関連までの学習に発展できれば、さらに学習が深まるのではないかと考える。

(2) 瀬戸市立道泉小学校(4年生)の例 ～共に生きるということ～

<コーディネーターへの相談内容>

○依頼者(先生)のご要望

学校でウサギを飼育しているが、ウサギの生態の学習だけではもったいない。できれば、命の観点から環境教育につなげたい。

<コーディネーターの対応>

○外部講師紹介

ウサギに詳しく環境についてもお話できる岩倉動物病院の先生を紹介した。

○授業内容の提案

ウサギの命をとおして子どもたちに人間や動植物とのつながりを理解するとともに、他者への思いやりのある態度を身につけられる授業を提案した。



<コーディネーターに対する感想>

○学校の先生

講師のあてが無く本当に困っていたので助かった。授業で伝えたい内容が盛りだくさんだったが、事前打合せでコーディネーターの方に、講師の方と私たちの考えを汲み取ってもらい、形にすることができた。その後も電話等で綿密な相談ができ、当日も来ていただくなど細かな配慮に感謝した。

○外部講師

先生との打合せの場を作ってもらったことで、先生の考えや児童の普段の様子やウサギの飼育に対する姿勢を十分把握することができ、授業を構築する上でとても有益だった。

(3) 学校と外部講師が連携・協働する上で難しい点

- ・授業を実施する上で日時・場所・費用・役割分担など事前に確認・調整することが多く、この調整が両者とも負担となる。
- ・授業の効果を上げるためには、あらかじめ教員の考えや児童の普段の様子・関心事を十分に把握することが重要であり、綿密な打合せが必要となる。

【参考】平成25年度 環境学習コーディネート業務等委託について

1 事業目的

環境学習を実施する際、各主体が連携・協働することで各々のノウハウ等を活かし合うことが重要とされているが、講師や活動場所に関する情報が少なく連携・協働先が見つけれない、相手がどのような環境学習を必要としているかわからない、実績が少ないことから調整に時間がかかるなどの理由で連携・協働した環境学習の実施が難しい状況にある。

こうした状況の中、講師や活動場所等の提供を受けたい主体と、これらを提供したい主体との円滑なマッチングを行い、各主体が連携・協働した環境学習の実施を推進する。

2 委託内容

- ・依頼者から環境学習の実施に関する相談を受け、学習内容等に沿った講師や活動場所等の情報提供や環境学習実施における助言を行う。
- ・依頼者から環境学習の実施に関する相談において、講師や活動場所等の紹介に加え、依頼者と講師間の日程や学習内容の助言・調整等の面談による打合せを実施する。当日は、講師とともに参加し、実施状況を把握する。

3 委託期間

平成25年5月2日～平成26年3月31日

4 委託業者

NPO法人ボランタリーネイバーズ・NPO法人アスクネット

5 相談・コーディネート業務の依頼者・件数・依頼内容

依頼者	件数	主な依頼内容
小学校	23	環境学習の内容の調整や講師の紹介
中学校	7	同上
高等学校	5	同上
市町村	7	環境に関するイベントの内容や講師の紹介
企業	3	講師の紹介、施設の活用方法
NPO等	4	環境学習講座の実施内容や講師の紹介
合計	49	

(平成26年1月末現在)

6 依頼分野

分野	環境全般	自然	水	大気	地球温暖化	エネルギー	3R	グリーン購入	その他	計
件数	15	6	11	2	1	1	5	3	5	49

7 評価

これまで実施された案件において、学校からの依頼については、「コーディネーターが適切な講師の紹介、外部講師との調整、学習当日の準備を担ったことで、教師の労力・時間を軽減することができ、環境学習をスムーズに実施することができた」、「学習内容を教師、外部講師との三者で調整したことで、子どもの理解がより深めることができた」、「授業の今後の展開についても提案してもらえた」などの意見を得ており、効果が上がっていることを確認することができた。

その他、市町村・企業・NPOから講師の紹介に関する相談が多くあり、適切な講師を紹介し、環境学習の推進の一助となった。